

海況速報

平成 25 年度 第 6 号 (通算 No.156)
平成 26 年 3 月 6 日
北海道立総合研究機構 水産研究本部



内容についてのお問い合わせは
中央水産試験場 海洋環境グループ
Tel 0135-23-4020
ckaiyou@fishexp.pref.hokkaido.jp

2 月中旬～下旬の海況

☆日本海海域

積丹半島西方の北緯 43° 30' , 東経 139° 30' の海域を中心に暖水渦 (指標 : 200m 層水温 3℃以上) がみられます。この暖水渦の勢力は強くはありませんが、暖水域が南方向に伸びており (指標 : 100m 層水温 5℃以上)、積丹半島北西沖からせたな沖にかけては、広く時計回りの循環になっています。本報では、100m 層水温 6℃以上を対馬暖流の指標にしていますが、今回の観測では水温 6℃以上の海域はなく、また、せたな沖定線 (北緯 42° 30' 線) の流量収支がほぼ 0 に近いため、対馬暖流は本道西岸を流れていない状況です。

宗谷海峡から羽幌沖に至る沿岸域では、表面水温が 3℃以下になっており、また、表面塩分は 33.6 以下と低塩分化していることから、オホーツク海水が流入しています。

水温は、全体的に例年よりも低くなっていますが、特に J3 線 (北緯 43° 30' 線) 以南の沿岸寄りの海域で例年よりも 2~3℃低くなっています (水温偏差表参照)。

余市における旬平均水温は、昨年 12 月までは例年よりも高くなっていましたが、本年 1 月から平年よりも低い状態に転じ、2 月中旬では「非常に低い」、2 月下旬では「かなり低い」になっています。

☆道東太平洋海域

道東海域を親潮が覆っており、沿岸側では沿岸親潮 (*1, 指標 : 水温 1℃以下) が流れています。道東沖の北緯 41° 東経 146° の海域では黒潮系北上暖水 (指標 : 50m 層水温 7℃以上) がみられます。

水温は、例年並の海域が多くみられますが、北緯 42° 以南の沖合域では親潮が流れる海域で例年よりも約 2℃低く、黒潮系北上暖水が分布する海域で例年よりも約 2℃高くなっています (水温偏差表参照)。

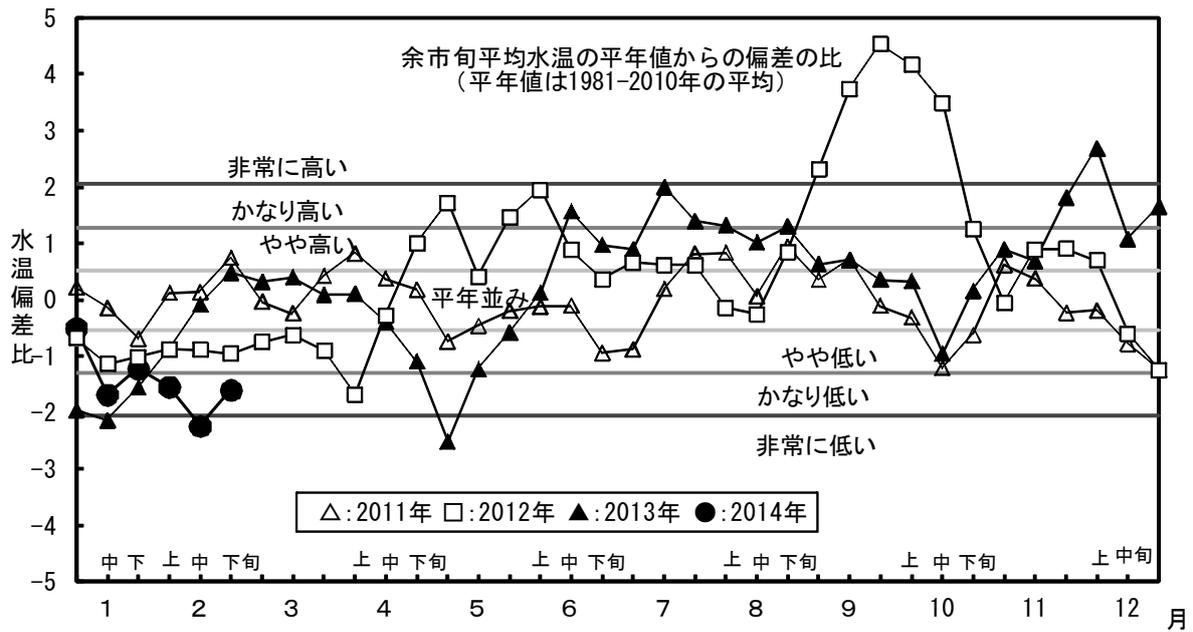
☆道南太平洋海域

道南太平洋海域は広く親潮 (指標 : 100m 深水温 5℃以下) に覆われています。胆振・日高の沿岸域を沿岸親潮が流れており、その先端は噴火湾湾口部に達しています。津軽暖流 (指標 : 100m 層水温 5℃以上) は沿岸モード (*2) です。

水温は、全体的に例年よりも低くなっていますが、沿岸親潮の流れる海域で例年よりも約 2℃低く、津軽海峡東口の海域で例年よりも 2~6℃低くなっています (水温偏差表参照)。

資料	観測期間	観測海域
稚内水試 (北洋丸)	2014/2/11-2/23	(道西道北日本海海域)
釧路水試 (北辰丸)	2014/2/13-2/22	(道東道南太平洋海域)

* 1 : オホーツク海の海水の融氷水を含む親潮として特に沿岸親潮という名前が付けられています。
* 2 : 津軽暖流が津軽海峡から襟裳岬まで大きく張り出してから南下している状態を「渦モード」と呼びます。これに対して、津軽暖流が青森県尻屋埼からすぐ岸沿いに三陸方面へ南下している状態を、津軽暖流の「沿岸モード」と呼んでいます。



「海況速報」は中央水産試験場ホームページに掲載しております。

また、同サイトにて余市前浜水温がご覧になれます。

<http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/exp/central/kaiyou/index.htm>

余市前浜水温の携帯サイトはこちらから

<http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/exp/central/kaiyou/keitai/k-index.html>

右に QR コードがあります。



